

# みんゆう 随想

世間では何歳くらいを境に

「中年」と位置付けるのであ  
るのか。まったくもって物悲  
しい響きの言葉である。おそ  
らくそれは何歳とかではな  
く、情熱という体温の「優良  
可」で決まるのかもしれない。  
それならこれから登場する四  
人の男達は明らかに「優」で  
ある。

渡辺 浩

石川町・ワタコギター  
ミュージックスクール代表



半年も前から綿密な計画を  
立て、家族の冷やかな視線  
にも耐え、青い空と海、蝶  
の楽園石垣島(沖縄県)へい  
ざっ／＼

「八重山行きてえ、行きて  
え」と八重山病に侵されて久  
しい井上氏は福岡から参加。  
眼の病と格闘しながらも、ま  
るで座頭市のような華麗な網  
さばきを見せる水流氏は佐賀  
からの参加。矢吹町からは足  
の血管手術とやらを間近に控

風であることに変わりはない  
った。たどりの着いた民宿では  
さっそく外出禁止令が発令さ  
れた。仕方なく蝶の話で無理  
矢理盛り上がり、話が尽きる  
と、明日は絶対晴れるよとい  
う、何の科学的根拠もない持  
論をそれぞれが展開した。

## 「中年蝶採り隊が行く」八重山編

えた最年長の田口氏。そして  
商売道具の指を腱鞘炎で痛  
めても網を振り続ける最年少  
の私。

台風直撃当日、することも  
なく「南国八重山の蝶」とい  
い砂浜、真っ赤に咲き誇るハ  
イビスカス、そして蝶、蝶、  
田口氏が画面と現実を比較す  
るかのよう何度も視線を窓  
の外へやる。そしてため息。

台風情報が変わった。ブラウ  
ン管を指差し、水流氏が何や  
ら騒いでいる。「台風が北に二  
り動いた、明日はもしかす  
ると」。全員が沈黙した。や  
がて屋根のアンテナは飛び、  
テレビも沈黙した。

どちらが強いかと大人げない  
テーマでもめている。久しぶ  
りに男達は活気と明るさを取  
り戻していた。

観測史上最大級の台風15号  
の直撃を明日に控えた石垣空  
港の荒れ狂う灰色の空を見上  
げて「めんそーれ」と出来  
るだけ明るくキメてみたが台

強い風が唸っていた。  
翌朝、ついに晴れた。行き  
先も決めず、とにかく走り出  
した四人組の車。後部座席で  
は井上氏と水流氏が、将棋は

外ではやたら暖かくなってやたら  
閉じた。こんなにも夢中にな  
れるオヤジたちがいるんだ、  
と世間に胸を張って、少し人  
生に強気になる今日この頃。

さっ、次は北海道の計画でも  
立てるかなあ。